

東京西海株式会社 会社方針

Misson Statemant & Value

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、原材料である陶土や、窯を稼働させるための燃料費の高騰に伴い、2022年9月より一部の商品の販売価格を改定させて頂く運びとなりました。

限りある資源や燃料を使い、ものづくりに向き合う企業として姿勢が問われる中、改めて弊社の大切にしている価値観や社会において果たすべき役割を見つめ直し、東京西海株式会社のミッションステートメントとバリューを掲げます。

価格高騰を最小限に留め、お客様にはできる限り変わらず波佐見焼を手にとっていただけるよう、これまでの姿勢の見直しを行い、弊社が出来る努力を実行いたします。具体的には、従来の検品基準を見直し、陶磁器の特性や個体差の基準で一定数が商品にならない検品から、製品としての本質的な価値を見極めた上で、特性や個体差も含め良品と位置付ける検品基準に改定いたします。またプラスチックフリーのパッケージを採用し、より環境に負担がなく、生産・再生に無理のないかたちを目指します。このように、資源を有効活用し、環境を配慮したロスの少ない体制を整え、適正な価格で商品をご提供いたします。

次の世代にバトンを渡すために、お客様（お取引先様）と共に、持続可能な波佐見焼の未来を創りたいと考えています。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年8月
東京西海株式会社
代表取締役 児玉賢太郎

TOKYO SAIKAI

〒158-0095 東京都世田谷区瀬田 4-29-11 833ビルディング
TEL:03-6431-0062 MAIL:order@tokyosaikai.com

Misson Statemant

長崎県波佐見町をルーツにもつ東京西海株式会社は
ウェルビーイングを求める生活者に対して
日々の暮らしの質を高めるロングライフのブランドとサービスを提供することにより
全ての関わる人や産地と共に創るビジネスのあり方を実現します。

Business value

デザインから販売まで一貫したマネージメント
一人一人が商品開発に関わっていることを意識します。

ローカル企業であり、グローバル企業である
世界規模に展開・通用する考えで、地域の文化や慣習に向き合い、社会のニーズに合った貢献をすることを目指します。

時代や社会の変化に対する柔軟性
世の中の変化に柔軟に対応し、簡便にリアルとリモートを行き来する。意思決定のスピードを強みにします。

TOKYO SAIKAI

〒158-0095 東京都世田谷区瀬田 4-29-11 833 ビルディング
TEL:03-6431-0062 MAIL:order@tokyosaikai.com

Q&A

・商品ごとの値上げ額が異なる理由は？

大きいサイズ、特殊形状の製品は、使用する原料や燃料の量、高度な技術や手作業工程が多いため、値上げ幅が大きくなっています。定番商品は据え置きまたは値上げ幅を抑え、引き続きお手に取っていただきやすいように考慮しております。

・なぜ HASAMI PORCELAIN の一部商品で、全色価格が統一になったのか？

これまで色により価格差がございましたが、ハンドルの取り付け等の職人による手作業工程のあるマグカップ、ティーポット等の商品に関しては、原価に差がなく価格を統一させていただくことになりました。アメリカ・ヨーロッパのグループ会社では発売当初より全色価格が統一されており、今後日本国内において、プレートやボウル類も価格が統一される可能性がございます。

・検品基準の改定の具体的な内容は？

2022年9月より、以下のような製品も良品として位置付けます。

- ・製造工程上発生する「鉄粉」「釉むら」「ピンホール」などの特性
- ・釉薬や生地自体の色の濃さなどの個体差

なお、陶磁器の生産は自然由来の原材料を使用し、また気候による窯の環境の変化や人の手作業が欠かせないことから、程度や範囲などが様々なため、商品ごとに判断をさせていただく場合もございます。

詳しくは [Care Guide](#) をご覧ください。

・どのようなパッケージに変更するのか？

これまで緩衝材として使用されていたプラスチック製のミラマットや段ボールを留める金具を使用しない、パッケージに変更いたします。随時新パッケージに切り替わりますので、納品のタイミングにより新旧のパッケージが混在する場合がございます。

・波佐見焼の持続可能な生産体制とは？

波佐見では、多くの工程で手作業が欠かせず、たくさんの人の手を経て一つの製品が生み出されます。陶土、生地、焼成、上絵などの工程を分業制で行い、町全体で焼き物を生産しています。

商品を企画し、販売する私たちが、産地にとって無理のないものづくり、流通の仕組みを考えること、また適正な価格で市場へ流通させることは、産地で商品を生産するそれぞれの会社の環境を整え、波佐見の産業が継続することに繋がります。東京西海は、波佐見をルーツにもち産業を次世代へ繋ぐ企業として、産地に向き合い、私たちにできる努力を実行いたします。

波佐見焼の製造工程について詳しくは [こちら](#) をご覧ください。



TOKYO SAIKAI